

番号	31 - 27	申請者	看護師 千代田 麻子
<p>【審査申請課題】 気管切開し人工呼吸器を装着するデュシャンヌ型筋ジストロフィー患者への 気管切開孔の拡大予防に向けた取り組み</p>			
<p>【審査課題の概要】 デュシャンヌ型筋ジストロフィーの患者は、疾患の進行とともに人工呼吸器管理を余儀なくされ、気管切開の下、気管カニューレを長期留置している患者が少なくない。当病棟で採用している気管カニューレは、メラソフィットクリア、アジャストフィット、トラキオソフトの3種類である。その中でも、アジャストフィットやトラキオソフトを使用している患者は、患者の気管の状態などの問題に合わせて挿入の長さが調整できる一方、気管の変形や患者の好みの肢位により、気管に沿った気管カニューレの固定が難しく、一定方向に負荷がかかりやすいと考えられる。また、気管切開孔から体外に出ている気管カニューレの長さがあり、さらにカニューレの上に閉鎖式吸引チューブを装着していることから、気管切開孔への負荷が大きい状況にあると考えられる。その結果、肉芽の発生や気切孔の拡大に伴うエアリークや抜去のリスクといった弊害が考えられる。その中でも、アジャストフィットを装着中の患者において、エアリークによる酸素化不良、気管切開孔よりカフが飛び出しカニューレが抜けかけることで、呼吸苦が出現する事象が生じた。気管切開孔の拡大に伴うエアリークや気管カニューレが抜けやすい状況は、人工呼吸器を装着している患者にとって命に直結するため、気管切開孔がこれ以上拡大しないように、患者の安全を確保し、疾患の進行に伴う長い療養生活を送る上での趣味活動といったQOLの向上に繋がると考えた。この患者に対して、気管切開孔が拡大した要因を探り、これ以上気管切開孔が拡大しないよう必要な安全対策や気管切開孔に負荷がかからない援助の方</p>			
審査結果	承認 (令和1年9月24日)		